

宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 1 月 12 日(水) ~ 平成 23 年 1 月 18 日(火))

平成 23 年 1 月 19 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する海外の動向

特になし

宇宙開発に関する国内の動向

- イプシロンロケット事業の促進について
JAXA は、平成 25 年度の試験機の打上げに向けて開発を進めているイプシロンロケットについて、打上げ射場を内之浦として設備整備等の必要な作業を進めていくと、12 日(水)に発表した。
- はやぶさカプセル内の微粒子の初期分析の開始について
JAXA は、サンプルキャッチャー A 室から回収された微粒子の中で、岩石質と同定した微粒子の初期分析を開始することと、初期分析を担当する研究者等を、17 日(月)に発表した。今回、100 分の 1 ミリメートルから 10 分の 1 ミリメートル程度の微粒子約 50 個を 13 大学・研究機関に配布する。
- 超小型衛星試験センターの開所式について
九州工業大学は 18 日(火)、平成 22 年 7 月北九州市に設立した超小型衛星試験センターの開所式を行った。超小型衛星試験センターは、1 辺 50 センチ以下の超小型衛星の宇宙環境試験に特化しており、振動、電波、熱真空等の様々環境試験を一元的に実施することが可能。